

<その他、取組に特徴のある事例>

## ○集落全体で特産地を守る

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県喜多郡内子町 川登			
協定面積 41.4ha	田 (2%)	畑 (98%)	草地	採草放牧地
	水稲、野菜	落葉果樹		
交付金額 241万円	個人配分			70%
	共同取組活動 (30%)	役員手当等		3%
		鳥獣害防止対策費(柵設置の日当)		25%
		農道等修繕費、その他		2%
協定参加者	農業者 43人			開始：平成17年度

### 2. 取組に至る経緯

川登集落は、旧内子町と旧小田町との境付近にあり、地域の中心を流れる小田川に沿って耕地と宅地が点在し、標高 230～250m の段丘地に果樹園等が広がっている。急傾斜地が多く基盤整備も行われていないが、内子町における柿の代表的な産地の一つである。また、落葉果樹(柿、ブドウ等)を中心に、自家消費向けの米、野菜なども栽培されている。

しかし、高齢化及び後継者不足に悩まされ、なんとか集落を活性化させようと平成 17 年度から本制度に取り組んでいるが、近年は、イノシシ等による鳥獣被害、柿の価格下落などに悩まされている。

### 3. 取組の内容

- 鳥獣害防止の一環として 22 年から箱罾等の設置を実施。さらに本年度は平成 24 年度鳥獣被害防止総合対策交付金の整備事業の一環でワイヤーメッシュを設置し(交付対象面積における受益面積は約 22ha)、集落一体となって対策を実施している。
- 集落で堆肥散布車を 2 台購入して堆きゅう肥の施肥を行い、おもに果樹畑の地力の増進に努めている。
- 柿の栽培においては、収穫の時期を考慮して、富有柿、太秋柿、松本早生等に別けて栽培しており、労務負担の軽減を図っている。



【集落での総会の様子】



【堆きゅう肥の施肥の様子】

**【集落の将来像】**

- 農地の保全に努め、現在の農村景観を維持していく。  
また、集落の基幹産業として現状の規模を維持し、集落の活性化につなげていく。



**【将来像を実現するための活動目標】**

- 1. 農道・水路の維持管理 2. 鳥獣害防止対策 3. 地力増進活動(堆きゅう肥の施肥)

農業生産活動等

多面的機能増進活動

農地の耕作・管理 (田 0.7ha、畑 40.7ha) 個別対応	農地法面の定期的な点検 (随時) 共同取組活動	堆きゅう肥の施肥 (年1回) 共同取組活動、個別対応
水路・作業道の管理 ・水路 1.0km、年2回 清掃、草刈り ・道路 4.3km、年2回草刈り 共同取組活動	鳥獣害防止対策(ワイヤーメッシュ、箱罾等の設置) 共同取組活動	

**4. 今後の課題等**

集落ぐるみで設置したワイヤーメッシュの設置の効果については、今後検証していく必要がある。

また、柿の価格下落については、集落だけでなく自治体等の関係機関とも連携して、対策を検討していく必要がある。

**【第2期対策の主な成果】**

- 水路・農道の維持管理とともに周辺林地の下草刈りを行うことにより、集落の景観が維持された。
- 豪雨等による農道等での災害に迅速に対応することで、集落の景観及び耕作環境が維持された。